

2025 年度 運輸安全マネジメント

輸送の安全に関する基本的な方針

『輸送の安全は我社の根幹であり、安全は最大の顧客満足である』

1. 輸送の安全に関する基本的な施策

- 全社員で安全意識の徹底。
- 法令を遵守し社会のルールに則して行動する。
- 輸送の安全に関する教育訓練を実施する。
- 輸送の安全に関する情報については積極的に公表する。
- 安全運転の技術向上に努めて参ります。

2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

§ 安全目標

項目	2024 年度目標	2024 年度実績	評価ランク	2025 年度目標
人身事故	0 件以内	0 件	A	0 件
有責事故	0 件以内	5 件	E	4 件

※人身事故 警察が人身事故として立件した場合の事故

※有責事故 加害者として 100%の責任で発生した場合の事故

評価ランク A=目標達成かつ 2 件以上減

B=目標達成かつ 1 件減

C=目標達成

D=目標に対し 1 件増

E=目標に対し 2 件以上増

* 目標値が 0 件の場合の達成評価は A とする

3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

○自動車事故報告規則第2条に規定する事故0件

4. 輸送の安全に関する実施状況（月間・年間）

§ 月 間	§ 年 間
1、安全衛生委員会実施	1、運転適正診断の受診
2、ドライバーミーティングの実施	2、危険予知トレーニングの実施（KYT）
3、eラーニングを利用した安全教育	3、ヒヤリ・ハット事例の抽出
4、全社会議での事故対策の共有	4、トラック安全運転研修への参加
	5、無事故コンクールへの参加
	6、無事故・無災害記録の掲示
	7、輸送懇談会（荷主・協力会社 参加）

5. 輸送の安全に関する教育計画

自動車事故対策機構の行う適性診断を活用し、全乗務員の運転状況等を把握すると共に、安全教育の年間計画により乗務員に対する教育を実施していきます。又、定期的に運転記録証明書を自動車安全センターより取り寄せ運転者の違反状況を把握して注意喚起教育していきます。

6. 設備及び安全に関する投資

アクセル、ブレーキ、ステアリングの運転操作をサポートするアクティブ・ドライブ・アシスト（ADA）、ドライバーの異常時に車両を緊急で停止させるエマージェンシー・ストップ・アシスト（ESA）、左折時の巻き込み事故のリスクを低減するアクティブ・サイドガード・アシスト（ASA）など、運転支援システムの導入を計画的に行い、輸送の安全に寄与する設備投資を推進していきます。

また、点呼でのアルコールチェック強化として携帯電話端末を使用したアルキラーNEXを導入して遠隔地（宿泊を伴う対面点呼を行えない運行時）でも機器からの本人確認とアルコール数値確認を行っており飲酒運転での有無の確認を徹底しています。

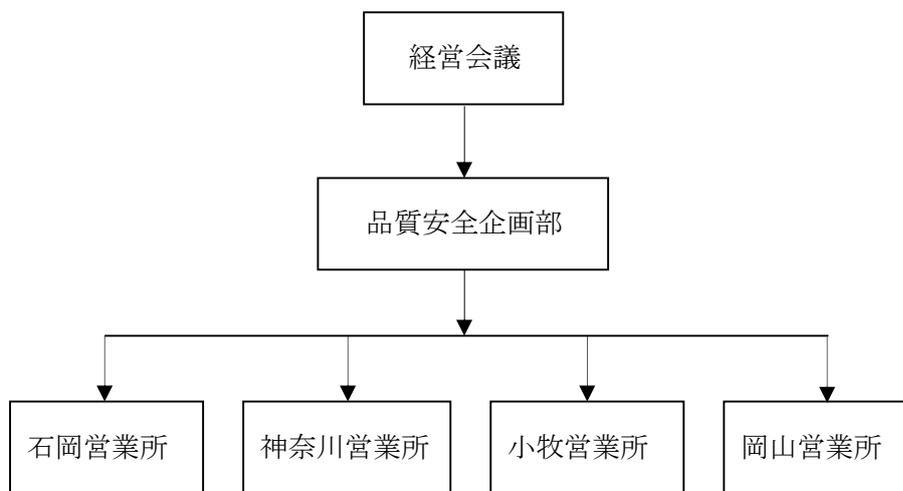
7. 安全運動活動

春秋の全国交通安全運転運動に合わせ、事故防止運動を重点的に行っていきます。交通安全ニュース等のポスターを社内へ掲示することで、運転手への事故に対する注意喚起を行っていきます。

8. 運輸安全マネジメント情報の共有

経営トップの安全に対する意識を速やかに活効率的に伝達するために、また、あらゆる情報収集を効率的に行い、安全のための内部チェックと改善を図るため「品質安全企画部」内に運輸安全に対しての内容を盛り込み、トップの意識を現場に反映させ、安全に関する事柄をあらゆる場面を通じて現場に波及させていきます。

9. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統



10. 安全性優良事業所（G マーク）認定

これからの貨物自動車運送業は、より『安全性』の高い事業者である事が絶対です。当社では全営業所が『安全性優良事業所』を認定されております。

主な取り組みは

- 1、乗務員の休憩・睡眠施設の保守管理を適正に行います。
- 2、コンプライアンスを遵守した運行管理を徹底します。
- 3、整備管理者による法令に定められた定期点検及び日常点検を確実に行ないます。
- 4、改善基準告示に基づき運転手の労働時間や休息时间等の管理を徹底します。
- 5、事故が発生した場合は速やかに報告書を提出します。
- 6、社内・外部の研修を定期的に行い安全運転に努めます。

11. グリーン経営認証取得

当社では全営業所が『グリーン経営認証』を登録し環境保全の為の仕組み・体制を整備し環境に優しい取り組みを行なっております。

取り組み項目

- 1、エコドライブの実施を厳重に行ないます。
- 2、最新基準に適応したトラックに順次代替し環境保全に努めます。
- 3、トラックの点検整備を厳重に行い排ガスの抑制、燃費の向上等に努めます。
- 4、廃車、廃棄物の抑制と適正処理及びリサイクルに努めます。
- 5、事務所が管理し環境保全に努めます。
- 6、環境汚染防止するため無駄なアイドリングストップを励行致します。

以上